

2009 年第 150 号  
(2009.11.06)

### 20 代独身男女 過去 3 年間の旅行経験に基づくアンケート調査

#### 旅行した人\*は・・・

- 小学生時代に 1 年に 1 回以上の家族旅行をしていた人が **83.2%**
- やっぱり友情！女性の **67.3%**は「一緒に旅行できる友人」が 2～3 人以上
- 出かけることが楽しみ！ショッピング・エステなど、**外出を伴う消費に積極的**

#### 旅行しなかった人\*は・・・

- 旅行意欲は強い！女性の **71.0%**、男性の **48.3%**が『今、旅行したい』
- 旅行経験の少ない人でも、「連れていってくれれば」旅行に行きたい！
- **自分で乗り物や宿の心配をしないでよい点**が周遊型パッケージ旅行のメリットと考える人が **61.7%**

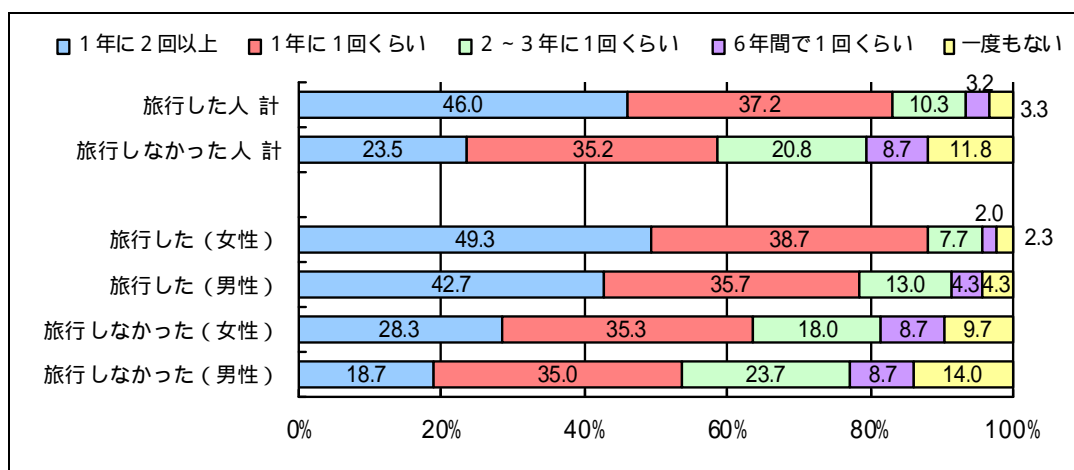
JTB では 2008 年の春に「20 代の旅行の動向に関する調査」を実施し、観光目的の旅行の動向や意向に関するアンケートを実施しました。今回は、「過去 3 年間に自発的に旅行した人(\*)と旅行しなかった人」を比較しながら、20 代独身男女の旅行に関する意識を調査しました。調査概要は以下の通りです。

\*過去 3 年間に、業務出張、会議、結婚式、帰省、親族と会うなどの旅行を除く、「自発的な旅行」をした人を「旅行した人」、していない人を「旅行しなかった人」と定義しました。

#### 1. 「旅行した」人の 83.2%が、小学生の頃に 1 年に 1 回以上の家族旅行をしていた

子供の頃に親や家族と旅行に行った経験が、大人になってからの旅行に与える影響は大きいようです。「旅行した」人は小学生時代に「1 年に 2 回以上」旅行した人が 46.0%と半数近くにのぼりました。特に女性では、1 年に 1 回以上の頻度で家族旅行をした人とすると 88.0%と、9 割近くを占めます。(図 1)

図 1 小学生時代の家族・親族との旅行の頻度



## 2. 「旅行した」人は一緒に出掛けられる親しい友人が多い

3年間の自発的な旅行経験別に見ると、「旅行した」女性のほぼ半数となる48.4%が「自分から気軽に誘って会える友人」が「4~5人」以上いると答えているのに対し、「旅行しなかった」女性では25.7%と半減します。(図2)

「2人で泊まりがけで出かけられる友人」についても、「旅行した」女性の67.3%、男性は41.7%が「2~3人」以上いると回答しています。(図3)

図2：自分から気軽に誘って会える友人の人数

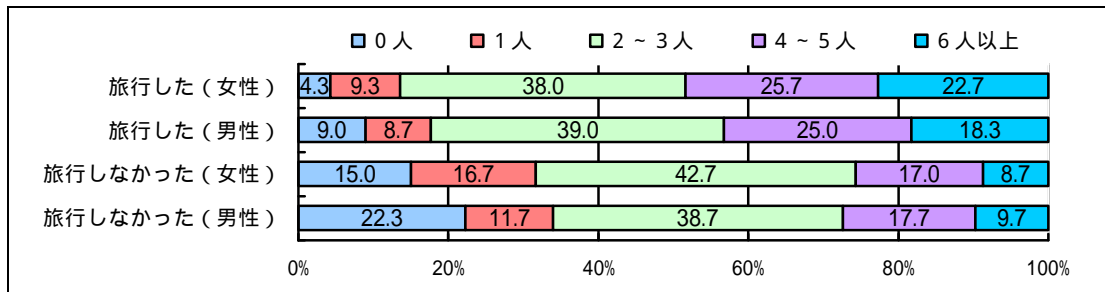
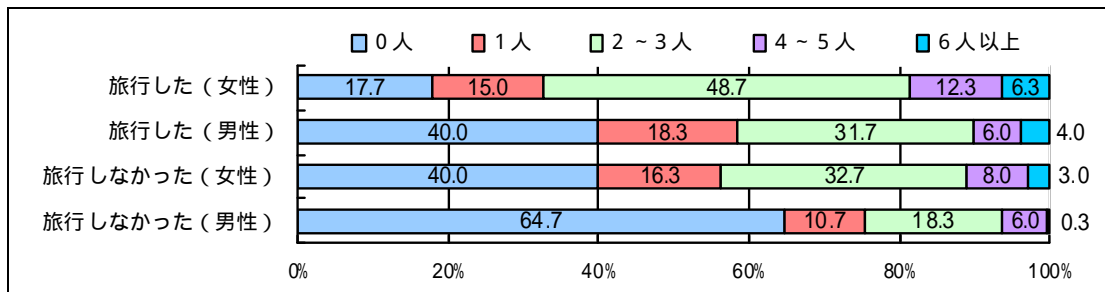


図3：2人で泊まりがけで出かけることができる友人の数



なお、「今、仮に泊まりがけの旅行に出かけるとした場合の理想の同行者」について訊ねた場合、旅行経験の有無にかかわらず、理想の同行者は「パートナー(恋人)と2人」が最も多く、「旅行した」女性は47.0%、男性は48.7%と半数近くにのぼっています。

これに対して、現実的な旅行の同行者について訊ねた場合、すべての層で理想の同行者の第1位だった「パートナー」は、「旅行した」層で約30%と減少しますが、1位を保っています。一方で、「旅行しなかった」層では、女性は「親や兄弟姉妹」(38.3%)が、男性は「1人旅」(32.0%)がそれぞれ1位となりました。(図4、図5)

図4：理想の旅行の同行者

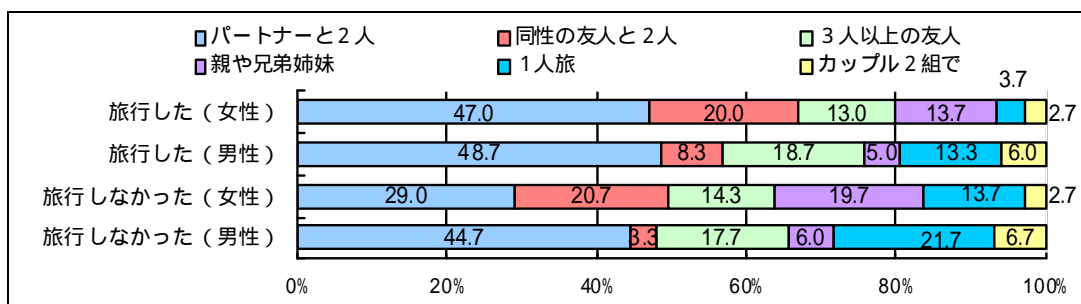
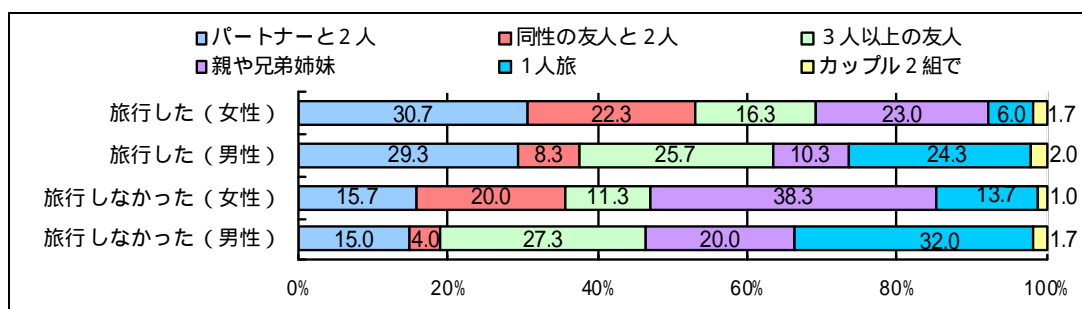


図5 現実の旅行の同行者



### 3. 「旅行した」女性は、ショッピング・エステなど外出を伴う消費に積極的

旅行以外の活動に対する価値観をみると、「旅行した」女性は、「旅行しなかった」女性と比べて「ファッション関連の買物」(35.0%)、「エステ・美容院・ネイルサロン」(24.7%)など、ショッピングや美容に対する意欲が高いことがわかります。同様に、「旅行した」男性も「スポーツ・身体を動かす」(24.0%)や「趣味を楽しむためにでかける」(16.3%)が「旅行しなかった」男性よりも高く、旅行した人は積極的に家から外に出て楽しむ傾向がうかがえます。

一方、「旅行しなかった」層では、「家でDVD、CD、ゲーム」(女性41.7%/男性44.7%)、「家でネットやブログ」(女性29.0%/男性30.0%)が高く、それぞれ「旅行経験あり」の2倍以上となりました。旅行経験のない人は、男女ともに家の中で楽しめる『コト・モノ』への関心が強いようです。(図6、図7)

図6：泊まりがけの旅行以外に価値があると思うもの(女性)

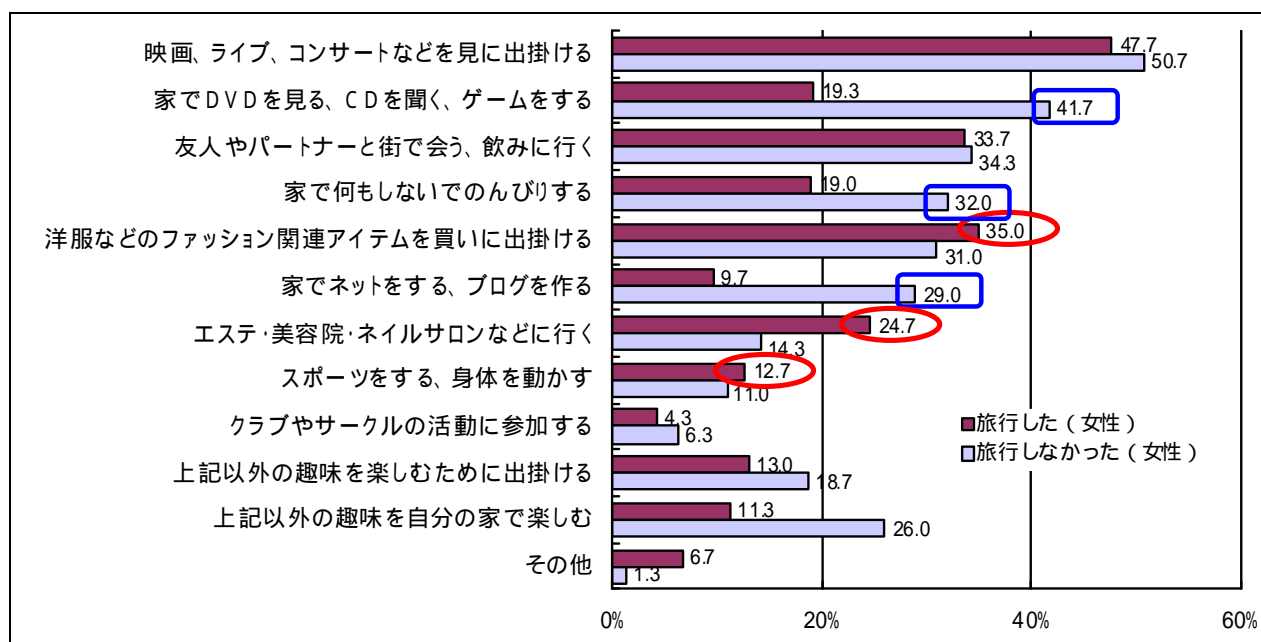
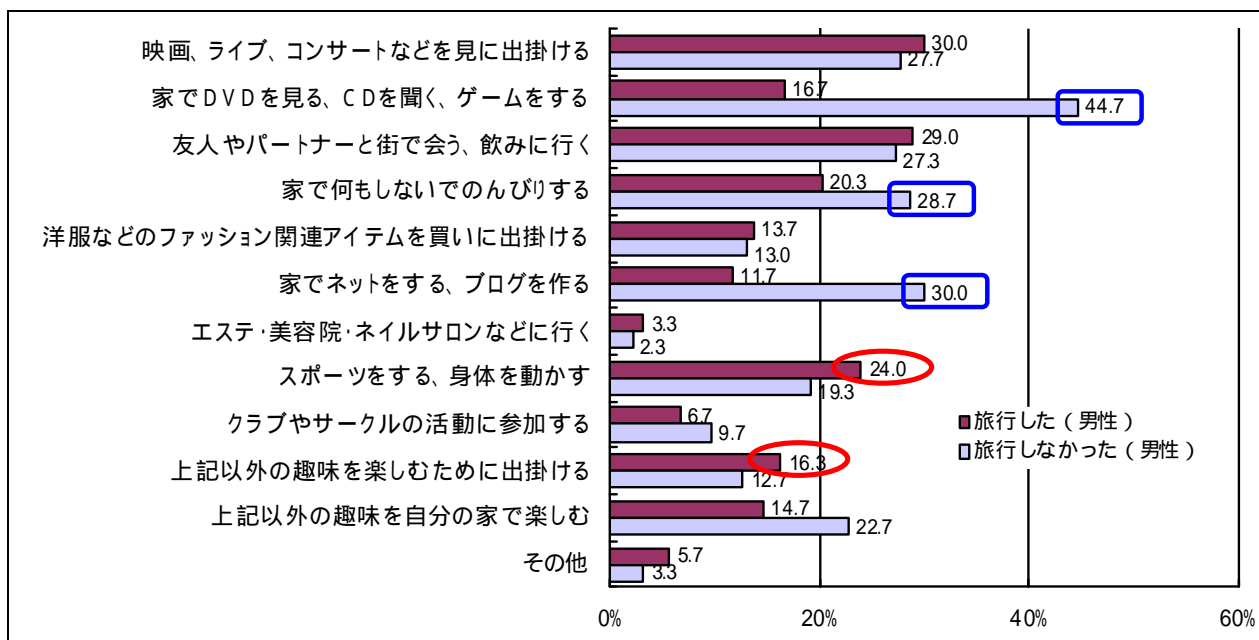


図7：泊まりがけの旅行以外に価値があると思うもの（男性）



#### 4. 旅行経験の少ない人でも、「連れていってくれれば」旅行に行きたい！

「今、旅行したいか」という質問には、「旅行した」人の女性は 94.0%、男性は 87.7%、「旅行しなかった」人でも女性は 71.0%以上、男性は 48.3%の人が「今、旅行したい」と答えています（図8）。過去3年間に旅行経験がない人に限ってみても、年収による旅行意欲の違いは殆どありません（図9）。

また、「旅行しなかった」人のうち、「今、旅行したくない人」には、旅行に行くための最低条件を選んでもらいました（複数回答）（図10）。旅行に行く条件のトップは男女ともに「混雑していないなら」。これに続くのは、男性が「一緒に旅行したい同行者ができれば」（34.8%）、女性は「面白いところに連れて行ってくれるなら」（35.6%）。このほか、「パートナーや親しい友人が旅行に誘ってくれれば」が男女とも 25%前後と高くなっています。一緒に旅行に行ける人がいて、旅行に行くためのお膳立てをしてくれれば行ってもいいかも・・・という受身な姿勢が垣間見えます。

図8 今、旅行したいか？

全回答者

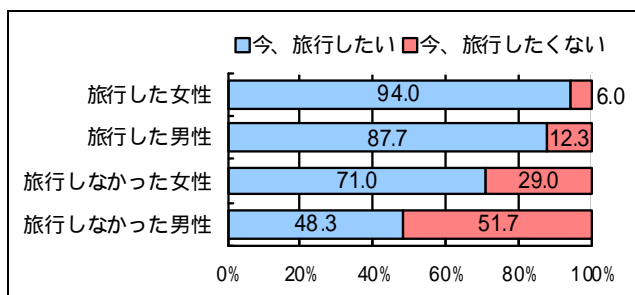


図9 今、旅行したいか？

「旅行しなかった人」（学生、無職、無回答除く）

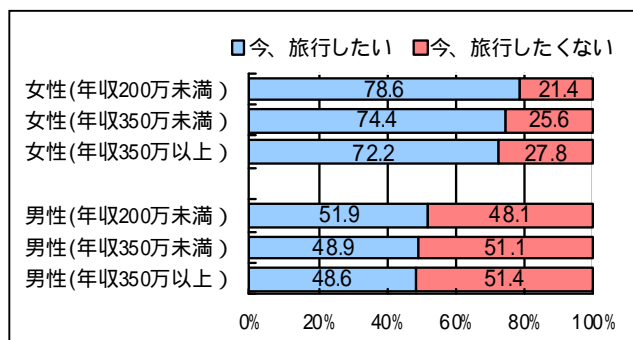
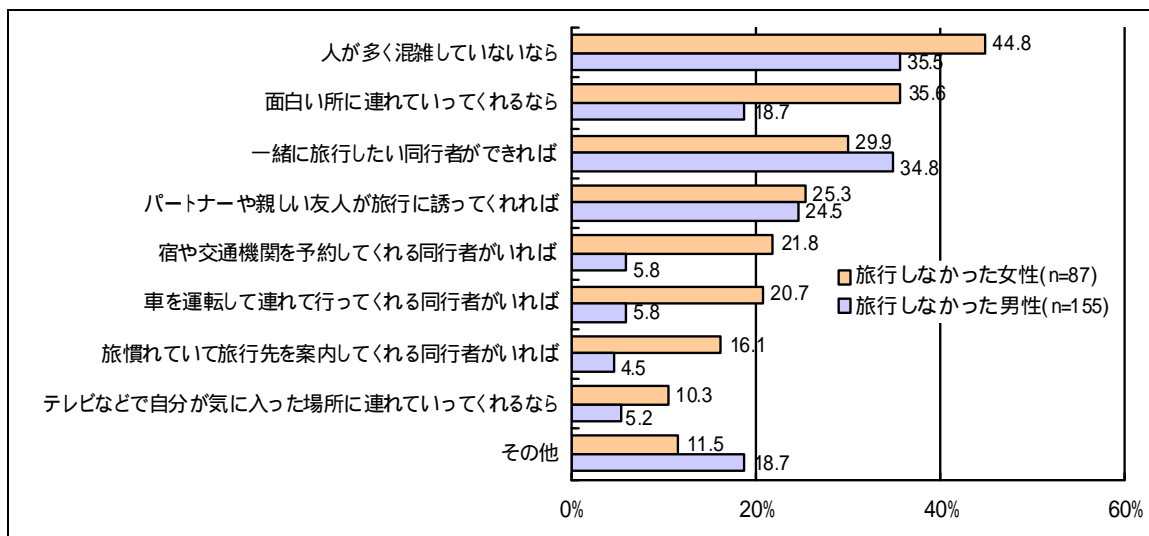


図 10 旅行するための条件（今、旅行したくない人）



### 5. 若者が敬遠すると思われるがちな、周遊型パッケージ旅行や団体旅行。本当は？

今回の調査では、20代の若年層が敬遠しがちと言われる添乗員・ガイドなどの付いた周遊型パッケージ旅行や団体旅行（以下、「周遊型旅行」）に対する意向についても調査しました。

この3年間に「旅行しなかった」人は「旅行した」人と比べて、過去の「周遊型旅行」への参加経験が低く（図 11）、今後の参加意向も低いです（図 12）。また、「周遊型旅行」について「乗り物や宿の心配をしなくてよいので楽」（61.7%）「旅行費用が安く済むならよい」（39.0%）などの回答が多く、「楽に」「安く」旅行できることを「周遊型旅行」の長所ととらえています。（図 13）

これに対して、「旅行した」人は、「ガイドから詳しい説明を聞ける」（31.5%）「多くの見どころを楽に回れる」（31.3%）「交通が不便で行きづらいところにも行ける」（29.0%）などの回答が多く、自らの経験から「自分では行きにくいところを」「説明つきで」「効率よく」旅行できることを「周遊型旅行」の長所とみていることがわかります。また、「旅行先で参加する旅行」であれば参加したい（32.3%）という現地発着なら団体でもよいという意向もみられました。

前項で見てきた「旅行しなかった人」が旅行する条件を満たすためには、20代の人にとって魅力的な「周遊型旅行」をもっと増やし、そのメリットを若者にアピールすることが近道と言えそうです。

図 11 「周遊型旅行」への参加経験

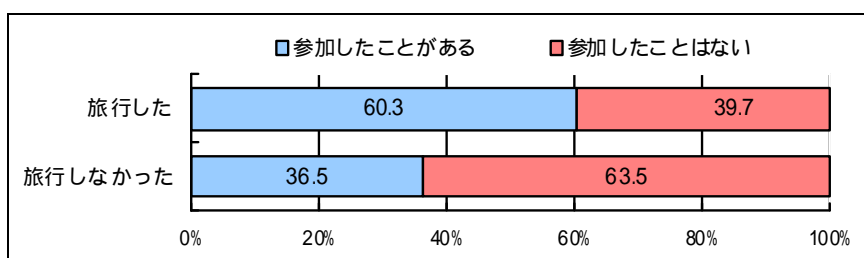


図 12 どのような「周遊型旅行」なら参加したいか

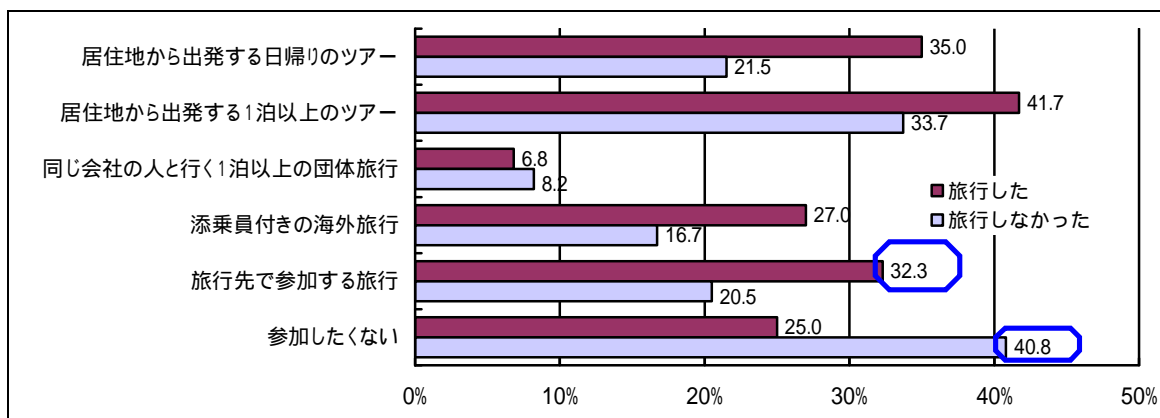
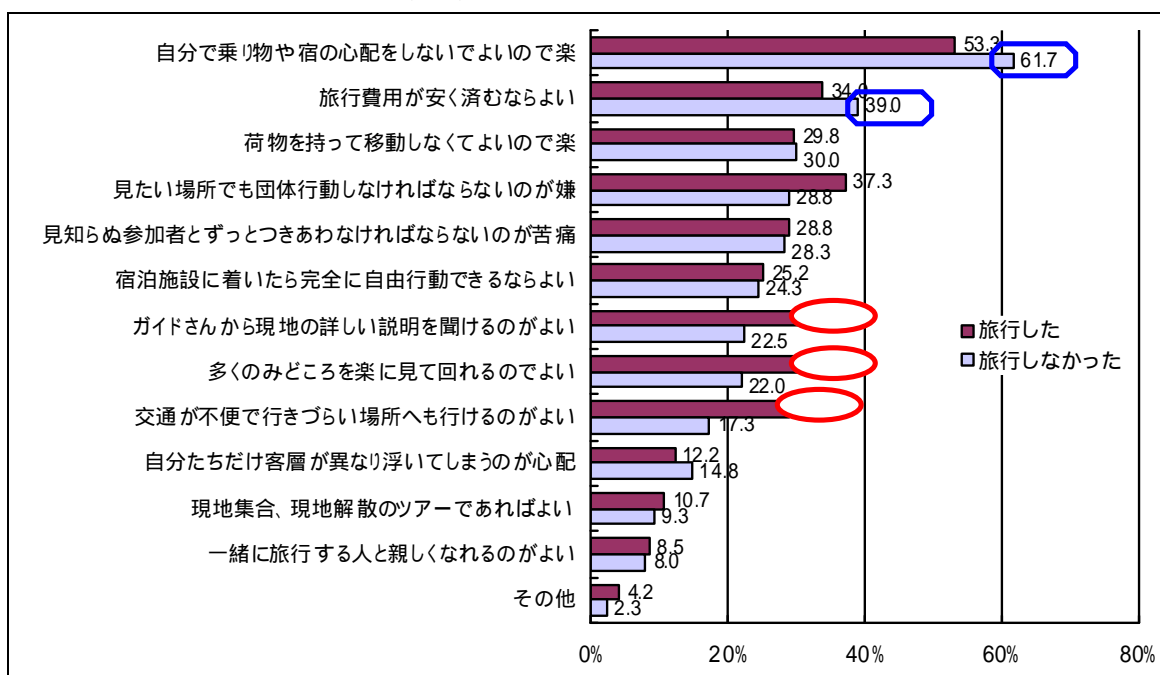


図 13 「周遊型旅行」についてどう思うか



< 調査概要 >

調査実施期間： 2009年10月2日(金)～10月6日(火)

調査対象： 首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、中京圏(愛知、三重、岐阜)、近畿圏(京都、大阪、兵庫、奈良)及び宮城県、広島県、福岡県に在住の20～29歳の独身男女

サンプル： 過去3年間に自発的に旅行していない人 = 「旅行しなかった人」

インターネットによるアンケート会員 600人(男女各300人)

過去3年間に自発的に旅行した人 = 「旅行した人」

インターネットサイトによるアンケート会員 600人(男女各300人)

調査方法： オンライン調査(インターネットサイト経由による)

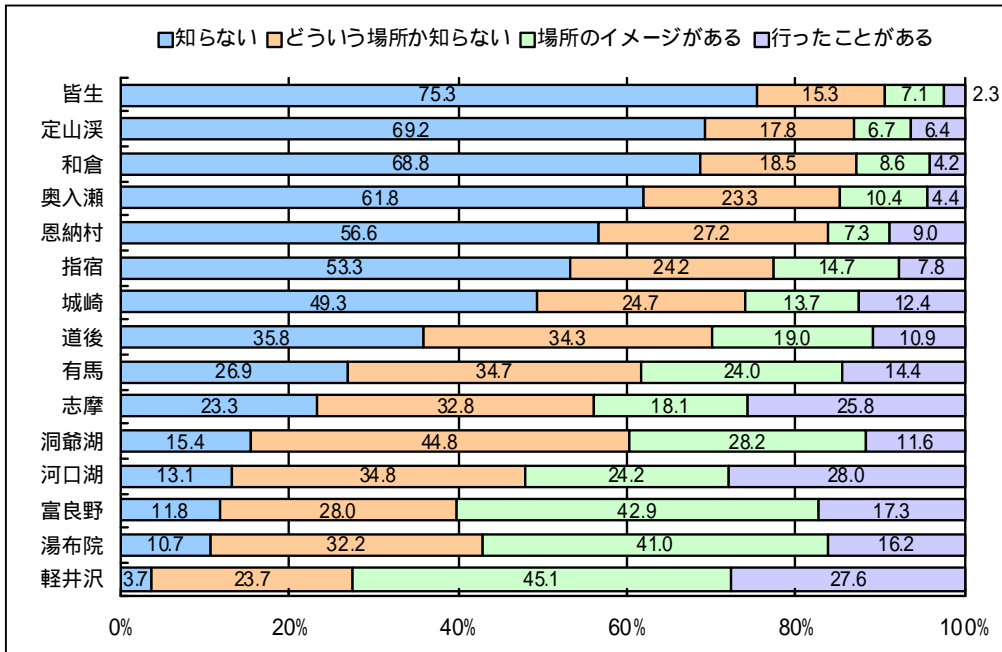
**参考：観光地の知名度、経験度**

20代の方が観光地を訪れてもらうためには、どれくらい観光地を知っているか、訪れたことがあるかも重要です。JTB 宿泊白書の2008年、2009年版の巻末資料より、JTBが販売人数を伸ばしている観光地をもとに選んだ以下の15の観光地についてその認識度、訪問経験を聞いてみました。

道後 洞爺湖 恩納村 軽井沢 奥入瀬 指宿 和倉 志摩 富良野  
 皆生 湯布院 城崎 河口湖 定山溪 有馬 (順不同)

地名の読み方が難しいということもあるのですが、全体では皆生(知らない75.3%)、定山溪(同69.2%)、和倉(68.8%)、奥入瀬(61.8%)、恩納村(同56.6%)などが20代の人には知られていないことがわかります。皆生については「(地名は知っているが) どのような場所か知らない」の15.3%を合わせると90.6%の人が具体的なイメージを持っていないことがわかります。

図 29 観光地認識、訪問経験 (全体)



< 報道関係の皆様からの問合せ先 >

JTB 広報室  
 03-5796-5833